

2016 年度

留学セミナー報告書

実習先 ウラジオストク国立経済大学

実習期間：8月30日（火）～12月6日（火）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21015108
藤田千穂

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	3
	4-1 研修のスケジュール	3
	4-2 研修の詳細	4
5	所感	4
6	おわりに	5
	謝辞	

付録

	研修日誌	6
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：ウラジオストク国立経済大学

研修期間：平成 28 年 8 月 30 日（火）～12 月 5 日（月）

※帰国は 12 月 6 日（火）

2 研修先概要

(1)大学について

ウラジオストク国立経済大学は、その名の通りウラジオストクに位置する。ウラジオストクは人口が約 60 万人の都市である。大学では 1 万人以上の学生が学んでおり、学部は八つある。キャンパス内は非常に広く設備が整っている。またサークル数も多く、柔道や剣道、囲碁などの日本の文化に触れることのできるサークルもある。

(2)大学で行われている教育について

ウラジオストク国立経済大学は、多くの留学生を受け入れている。留学生のクラスでは、まずテストを行い、その人の実力を調べた後にクラスが決められる。自分のレベルに合った授業を受けることができる。また、少人数のクラスということもあり、充実した学習をすることができる。

3 研修目的

今回の研修の目的は、ロシアをより詳しく知ることと、語学の上達である。今ではインターネットやメディアを通じて、ロシアを詳しく知ることができる。しかし、中には不確かな情報も多く存在している。実際にロシアに行き、多くの人々と接して自分の目で確かめたいと感じた。また、NUI S の授業だけではロシア語に触れる機会が少ない。現地に行ってネイティブのロシア語に触れることで、語学の習得を目指した。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に掲載する。

4-1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日（曜日）	午前	午後
8	30（火）		到着
9	5（月）	授業開始	
	10（土）	ペリメニ作り	映画祭
	25（日）	トラ祭り	
10	22（土）	ハバロフスク観光	
11	19（土）		バレエ鑑賞

12	6 (火)	出発	帰国
----	-------	----	----

4-2 研修の詳細

スケジュールに記載されている各項目の内容は以下のとおりである。

(1)授業

個人のレベルに合わせて割り振られたクラスでの授業である。読み書きや聞き取り、文法などを中心に学ぶ。時々、ロシアのアニメーションを見て学習することもある。

(2)ペリメニ作り

スヴェトラナ先生と娘さんと一緒に、ペリメニを作った。ペリメニの作り方は、餃子に似ていた。肉とシナモン風味のりんごの二種類を作った。

(3)映画祭

ロシア人や他国の俳優、女優が集まっていた。日本からは女優・桃井かおりさんが代表として来ていた。たくさんのメディアが集まっていて、大変盛り上がっていた。

(4)トラ祭り

ウラジオストクではトラがシンボルになっている。顔にトラのペイントをしたり、風船や旗を持ったりして、パレードに参加する。街の中央広場はペイントをした多くの人々で溢れかえっていた。

(5)ハバロフスク観光

韓国人の学生と先生方と一緒に、夜に寝台列車に乗ってハバロフスクを観光した。教会に行ったり、博物館に行ったりした。学芸員の方に、展示物について説明してもらった。また、なにも描かれていないマトリョーシカに絵を描いて、オリジナルのマトリョーシカを作った。

(6)バレエ鑑賞

韓国人の学生と先生方と共に劇場に行って、くるみ割り人形を鑑賞した。日本ではなかなか本場のバレエを見ることはないので、新鮮だった。とても幻想的で綺麗だった。

5 当初目的・目的への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

(1)ロシアをより詳しく知ること

留学前と留学後では、ロシアの印象が大きく変わった。海外に身を置くことで、日本との

違いをより実感することができ、良くも悪くも身をもって体験することができた。

(2)語学の上達

日本にいた時と比べて、ロシア語を聞き取れるようになった。ロシア語で質問されて、以前よりもそれに対し答えることができるようになった。しかし、三か月ではまだまだ語学の向上は難しいと感じた。帰国すると日本語を聞くことの方が多くなるため、忘れないように今まで以上に自発的に学ぶことが必要である。

6 反省・課題

一か月留学期間が短くなってしまったが、とても充実した三か月間だった。

今まで以上に努力して、学習を続けていきたい。

謝辞

今回、ウラジオストク国立大学にて大変お世話になった、yuliyaradaeva 先生、Светлана Карякина 先生、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の 2016 年度前期の授業、留学に向けての授業をしてくださった、アレキサンドル・プラーソル先生、神長英輔先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、留学が実現し、充実した貴重な経験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：研修日誌

8月30日 火曜日 午前
出発 新潟駅
内容 ・新潟駅から東京駅まで新幹線で移動 ・成田空港で神長先生と合流 ・成田空港でウラジオストクまで飛行機で移動

移動の所感

飛行機で約二時間の移動だった。あっという間に到着した。朝からの移動だったが、まだ皆元気だった。

8月31日 水曜日 午前 午後
オリエンテーション
担当 Светлана Карякина Надежда Шульга
研修内容 ・学生カード作り ・スーパーなどでの買い物の仕方

オリエンテーションの内容

大学の出入りには学生カードが必要なため、写真を撮って作った。Светлана Карякинаさんと Надеждаさんとカフェで朝食と昼食を取った。その後、Надеждаさんと大学の近くのスーパーに行って、必要なものを一緒に買った。

9月1日 木曜日 午前 午後
テスト
担当 Светлана Карякина Надежда Шульга
研修内容 ・テスト ・街を散歩する

所感

クラス分けのために、テストを受けた。テストではパソコンを使用したけど、全てロシア

語のため、戸惑うことや分からないことがあったが、優しく教えてもらった。その後、**Светлана Карякина**さんと一緒に、バスに乗って街に行った。カフェに入って、昼食を取った。

9月5日 月曜日 午前 午後
ауд. 5510a ,5515 ,5506
研修内容 ・自己紹介、リスニング ・文法 ・ロシアのおみやげについて

具体的内容

今日はクラスが決まって、初めての授業だった。八時半から、授業が始まった。クラスは、日本人と韓国人の生徒だけだった。自己紹介をして、日本や新潟のことについて話した。その後、簡単なロシア語の会話を聴いて、それについて質問されたり答えたりした。二限は文法の授業で、教科書の絵を見てそれにあたる単語を言ったりした。

90分の休憩後、日本人だけのクラスの授業が始まった。午後の授業は全て日本人だけのクラスである。三限は美術で、マトリョーシカの絵を描いた。皆目の前にマトリョーシカを置いて、それを見本にした。絵の具を使った。

9月10日 土曜日 午前 午後
ペリメニ作り 映画祭
担当 Светлана Карякина Надежда Шульга
内容 ・ペリメニ作り ・映画祭

具体的内容

Светлана Карякина先生と娘さん、鳥取から来た日本人学生と一緒にペリメニを作った。街にあるお店で、店員さんにペリメニの作り方を一から丁寧に教えていただいた。

午後に、**Надежда**さんと一緒に映画祭に行った。ロシアからはもちろん、他国からの俳優、女優がたくさん来ていた。カメラマンなどのメディアが大勢いた。レッドカーペットが敷かれており、本格的だった。



9月25日 日曜日 午前 午後
トラ祭り
担当 Надежда Шульга
内容 ・トラ祭り

所感

Надеждаさんと他の留学生たちと一緒に、バスに乗って街の中央広場に行った。トラのペイントをした人がたくさんいた。街は風船やオレンジ色で溢れていた。ВГУЭСのプラカードを持って行進しているのを見て、皆でその輪に入って、一緒に行進した。一体感があった。その後、留学生たちと写真を撮って、店に行き無料で顔にトラのペイントをしてもらった。8分ほどでペイントは終わった。人によって、トラのメイクが異なっており、思ったよりも本格的だった。



10月22日 土曜日
ハバロフスク観光
担当 Светлана Карякина Ольга Баранова
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・公園を散歩 ・教会 ・博物館見学 ・マトリョーシカ作り

具体的内容及び所感

21日の夜から、韓国人の留学生と先生方と共に、寝台列車に乗った。翌日に、二人のガイドの方に観光を案内していただいた。ハバロフスクには雪はほとんどなかったが、とても寒かった。カフェで朝食を取ったあとに、バスで移動して公園に行き、たくさんの鳩と戯れたり、銅像の写真を撮ったりした。きらびやかな内装の教会に行った。そこでは、マフラーや帽子を取って、女性は髪の毛を出さないようにマフラーで隠すように指示された。絵画を見た後、博物館に移動して剥製を見たり、昔使われていた道具について説明していただいたりした。また、お店に入ってなにも描かれていないマトリョーシカに、好きな絵を描いてオリジナルのマトリョーシカを作った。貴重な経験ができた。

11月19日 土曜日
バレエ鑑賞
担当 Светлана Карякина
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・バレエ「くるみ割り人形」

具体的内容及び所感

先生と他の留学生たちと劇場に行った。劇場ということで、ドレスや綺麗な服を着ている人が多く見受けられた。コートを受け付けの人に渡して、番号が書かれた札をもらった。ホールは大きく、席はほとんど埋まっていた。

バレエは第二部まであり、第一部と二部の間に15分ほどの休憩があった。第一部が終わると、ホールを出る人がほとんどだった。ホールの外で話したり、写真を撮ったりしている人が多かった。



12月5日 月曜日 午後
教室 5513
インストラクター名 Светлана Карякина yuliyaradaeva
研修内容 ・修了証書授与 ・お茶会

具体的内容

一時半に教室に集まり、三か月間撮りためていた写真をパワーポイントで見た。今までの思い出を振り返った。その後、修了証書が授与され、その記念にお菓子や大学のバッジなどをいただいた。教室を移動してお茶やお菓子を楽しみ、全員で写真を撮った。